

令和7年国勢調査を実施します

国勢調査 2025

10月1日を期日として、「令和7年国勢調査」が全国一斉に実施されます。9月下旬頃から調査員が各地区を巡回し、調査書類の配布や聞き取り調査を行いますので、回答の協力をお願いします。

詳しくは、**国行革・DX推進課**（☎257619）へ。
ホームページID 12498



▲キャンペーンサイトはこちら

国勢調査とは

日本に住んでいる全ての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、5年に一度実施されています。結果は、行政機関において社会福祉、雇用、環境整備、災害対策などの基礎データとして活用されています。また、民間企業や研究機関でも広く利用されています。

●主な調査項目

氏名、性別、出生の年月、配偶の関係、就業状態、世帯員の数など(全17項目)

●回答方法

- ・インターネットで回答
- ・調査票(紙)を郵送で提出
- ・調査票(紙)を調査員に提出

回答はインターネットが便利です

書類に直接記入する必要がなく、手元に書類が届き次第、回答可能です。

インターネット
回答期間

9月20日(土)～10月8日(水)

調査票(紙)の
回答期間

10月1日(水)～10月8日(水)



令和8年4月1日から正式運用 マイナ救急の実証実験を開始します

マイナ救急とは▶救急隊が傷病者本人のマイナ保険証(健康保険証として利用者登録したマイナンバーカード)を活用し、傷病者が過去に受診した病院や処方された薬等の医療情報などを閲覧する仕組みです。



▲動画「あなたの命を守るマイナ救急」

活用方法
マイナ保険証を持っている傷病者から同意を得た上で、救急隊がマ

活用方法

誰もが慌てる救急現場
通常の救急搬送では、現場に到着した救急隊が傷病者の氏名や既往歴、処方薬、かかりつけの医療機関などを本人または家族から、主に口頭で聞き取りしています。しかし、苦しんでいたり意識を失っている傷病者や高齢患者から情報を集めるのは簡単ではありません。また、慌ていると記憶が曖昧になったり分からなくなったりします。

渋川広域消防本部は、10月1日から令和8年3月31日まで、総務省消防庁と連携して、救急業務の円滑化に向けたマイナ救急の実証事業を行います。令和8年4月1日(水)からは正式運用します。詳しくは、渋川広域消防本部(☎254192)または健康増進課(☎251321)へ。

マイナ救急のメリット
▽病歴や飲んでいる薬など、救急隊へ正確に伝えることができる
▽円滑な搬送先病院の選定や適切な応急処置が実施できる
▽搬送先病院で、治療の事前準備ができる など
※マイナンバーカードの不所持やマイナ保険証の利用登録がない場合は、通常の救急活動を実施します

